

Ⅲ 資格に関すること

1. 教育職員免許状の取得について

本学部学生で、教育職員免許法及び同法施行規則によって定められたところの科目及び単位を修得した者は、次の教育職員免許状を取得することができる。

(1) 免許状の種類及び教科

学 科	免許状の種類	免許教科
環 境 数 理 学 科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	数学 数学・情報
環境デザイン工学科	高等学校教諭一種免許状	理科・工業
環 境 管 理 工 学 科 環 境 物 質 工 学 科	高等学校教諭一種免許状	理科

(2) 基礎資格及び最低修得単位数

免許状の種類 基礎資格 最低修得単位数		基礎資格	最低修得単位数			
			教育職員免許法 施行規則 第66条の6に 定める科目	教科に関 する科目	教科又は 教職に関 する科目*1	教職に関 する科目
中学校教諭一種免許状		学 士 の 学 位 を 有 す る こ と	8*2	20	8	31
高等学校教諭 一 種 免 許 状	数 学 情 報 理 科	学 士 の 学 位 を 有 す る こ と	8*2	20	16	23*3
	工 業	学 士 の 学 位 を 有 す る こ と	8*2	27	16*4	23*3, 4

*1 「教科又は教職に関する科目」は、「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」若しくは「教職に関する科目に準ずる科目」により修得すること。

*2 「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」は、カリキュラム上、実際は10単位必要となる。（（3）①参照。）

*3 高等学校教諭一種免許状の場合、「教職に関する科目」は、カリキュラム上、実際は25単位必要となる。（（3）③参照。）ただし、超えた部分の単位については「教科又は教職に関する科目」に含めることができる。

*4 工業の免許状取得に必要な「教科又は教職に関する科目」及び「教職に関する科目」の単位は、「教科に関する科目」の単位数をもって替えることができる。

(3) 開設授業科目

①教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法 施行規則第66条 の6に定める科目	授業科目	単位数	履修要件	最低修得 単 位 数
日 本 国 憲 法	日本国憲法	2	必修	2
体 育	するスポーツ演習 健康・スポーツ科学	2 2	必修 必修	4
外 国 語 コミュニケーション	総合英語1 総合英語4	1 1	必修 必修	2
情報機器の操作	計算機操作入門 情報処理入門 プログラミング入門	2 2 2	必修：環境数理学科 必修：環境デザイン工学科 環境管理工学科 必修：環境物質工学科	2
合 計				10

②教科に関する科目

■環境数理学科

[中学校教諭一種免許状(数学)]，[高等学校教諭一種免許状(数学)]

教科に関する科目	授業科目	履修要件	最低修得 単 位 数
代 数 学	○代数学Ⅰ，代数学Ⅱ，線形代数Ⅰ，線形代数Ⅱ， 線形代数Ⅱ演習，線形代数Ⅲ，離散数学入門	2 単 位 以 上	20
幾 何 学	○幾何学基礎，幾何学要論	2 単 位 以 上	
解 析 学	○応用解析学A，微分積分Ⅰ，微分積分Ⅰ演習，微分積分Ⅱ， 微分積分Ⅱ演習，ベクトル解析，応用解析学B，フーリエ解析と偏微分方程式，力学系とモデリング，環境 アナリシス	2 単 位 以 上	
「確率論，統計学」	◎確率論，◎統計学Ⅰ，統計学Ⅱ，数理統計学Ⅰ，数理 統計学Ⅱ，環境統計科学Ⅰ，環境統計科学Ⅱ，計量アナ リシスⅠ	2 単 位 以 上	
コ ン ピ ュ ー タ	○プログラミング言語Ⅰ	2 単 位 以 上	

○印：免許状取得における必修科目

◎印：免許状取得における選択必修科目（どちらか1科目選択必修）

[高等学校教諭一種免許状(情報)]

教科に関する科目	授業科目	履修要件	最低修得 単 位 数
情 報 社 会 及 び 情 報 倫 理	○情報化社会と倫理	2 単 位	20
コンピュータ及び情報処理 (実習を含む)	○計算機科学要論，計算解析，数値シミュレーションⅠ， 環境情報モデル学，情報課題研究，プログラミング言語 Ⅱ，偏微分方程式とその応用	2 単 位 以 上	
情 報 シ ス テ ム (実習を含む)	○計算統計学Ⅰ	2 単 位 以 上	
情報通信ネットワーク (実習を含む)	○計算機リテラシ入門	2 単 位	
マルチメディア 表現及び技術 (実習を含む)	○数値シミュレーションⅡ，情報統計学，計算統計学Ⅱ ，環境数理生物学	2 単 位 以 上	
情 報 と 職 業	○情報と職業，情報数理インターンシップ	2 単 位 以 上	

○印：免許状取得における必修科目

■環境デザイン工学科

[高等学校教諭一種免許状（理科）]

教科に関する科目	授業科目	履修要件	最低修得 単 位 数
物 理 学	○力学の基礎, ○物理学の基礎, エネルギーとエントロピー, 変形体力学Ⅰ及び演習, 構造材料学, 土質力学Ⅰ, 水理学及び演習, 振動学Ⅰ, 大気環境学, 環境水理学	4 単 位 以 上	20
化 学	○現代の化学, 環境と物質, 環境物理化学, 有機化学Ⅰ [物質], 化学結合論Ⅰ [物質]	2 単 位 以 上	
生 物 学	○環境生物学, 水質学, 環境微生物学, 植生管理学 [管理], 水域環境管理学 [管理]	2 単 位 以 上	
地 学	○基礎地球科学, 地球と環境, 気象と水象	2 単 位 以 上	
物理学実験, 化学実験, 生物学実験, 地学実験（ 各実験にはコンピュータ 活 用 を 含 む）	○材料試験法及び実験	1 単 位	

○印：免許状取得における必修科目

[管理]：環境管理工学科開設科目

[物質]：環境物質工学科開設科目

[高等学校教諭一種免許状（工業）]

教科に関する科目	授業科目	履修要件	最低修得 単 位 数
工 業 の 関 係 科 目	環境と地盤, ○環境影響評価学, ○循環型社会システム, 土質力学Ⅱ, ○都市・地域計画学, ○測量学, ○測量学実習, 情報処理及び演習, 廃棄物マネジメント, ○地下水工学, ○地盤工学, 土と基礎の設計計算演習, ○水理設計学及び演習, ○河川環境学, 沿岸環境学, 上下水道学, 計画数理, ○交通計画学, ○景観論, 環境計画学, 都市解析学, ○計画学演習, 変形体力学Ⅱ, 振動学Ⅱ, 環境解析学Ⅰ, 環境解析学Ⅱ, コンクリート構造設計学Ⅰ, コンクリート構造設計学Ⅱ, 土質試験法及び実験, 水理計測法及び実験, 水・環境質計測法及び実験	23 単 位 以 上	27
職 業 指 導	○職業指導概説Ⅰ [工学部], 職業指導概説Ⅱ [工学部], ○技術者倫理, キャリア形成論, 環境デザイン工学インターンシップ	4 単 位 以 上	

○印：免許状取得における必修科目

[工学部]：工学部開設科目

■環境管理工学科

[高等学校教諭一種免許状(理科)]

教科に関する科目	授業科目	履修要件	最低修得 単 位 数
物 理 学	○物理入門, 力学の基礎, エネルギーとエントロピー, 土壌物理学, 流体力学入門, 構造力学Ⅰ, 土質力学, 土壌の物質移動学, 水理学	2 単 位 以 上	20
化 学	○現代の化学, 物質化学入門, 環境と物質, 基礎物理化学, 有機化学Ⅰ [物質], 化学結合論Ⅰ [物質]	2 単 位 以 上	
生 物 学	○植生管理学, 環境と生物, 水質学, 環境生物学, 水生動物学, 水域環境管理学	2 単 位 以 上	
地 学	○気象と水象, 基礎地球科学, 地球と環境, 基礎地形情報学, 土壌科学概論, 流域水文学, 水文環境管理学, 地形情報管理学, 環境気象学	2 単 位 以 上	
物理学実験, 化学実験, 生物学実験, 地学実験 (各実験にはコンピュータ活用を含む)	○環境生物学実験, 土壌環境実験, 水利実験, 土質・コンクリート実験, 基礎地形情報学実習, 地形情報管理学実習	1 単 位 以 上	

○印 : 免許状取得における必修科目

[物質] : 環境物質工学科開設科目

■環境物質工学科

[高等学校教諭一種免許状(理科)]

教科に関する科目	授業科目	履修要件	最低修得 単 位 数
物 理 学	○物理学の基礎, エネルギーとエントロピー, 工学基礎	2 単 位 以 上	20
化 学	○基礎物理化学, 物質化学入門, 環境と物質, 物理化学A, 熱力学, 物理化学B, 物理化学C, 化学結合論Ⅰ, 化学結合論Ⅱ, 無機化学, 有機化学Ⅰ, 有機化学Ⅱ, 高分子化学Ⅰ, 化学工学A, 化学工学B, 反応工学, 環境分析化学, 機器分析, システム設計学, 固体化学, セラミックス物性化学, 無機材料化学, 有機化学Ⅲ, 環境有機化学, 高分子化学Ⅱ, 分離工学, 環境触媒化学, 化学プロセス工学	2 単 位 以 上	
生 物 学	○環境と生物, 水質学, 環境生物学, 植生管理学[管理], 水域環境管理学[管理]	2 単 位 以 上	
地 学	○基礎地球科学, 気象と水象, 地球と環境	2 単 位 以 上	
物理学実験, 化学実験, 生物学実験, 地学実験 (各実験にはコンピュータ活用を含む)	○教養物理学実験 [教養], 環境分析化学実験, 環境化学実験Ⅰ, 環境化学実験Ⅱ, 環境化学実験Ⅲ	1 単 位 以 上	

○印 : 免許状取得における必修科目

[管理] : 環境管理工学科開設科目

[教養] : 教養教育科目

③教職に関する科目

科 目	各科目に含める必要事項	最低修得単位数				教育実習 履修資格 単 位 数
		中学校教諭 一種免許状		高等学校教諭 一種免許状		
教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	2		2		2
	教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）					
	進路選択に資する各種の機会の提供等					
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	2	6	2	6	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	2		2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	2		2		
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	2	12	2	8	4 （各教科の指導法2単位以上含むこと）
	各教科の指導法	2		2		
	道徳の指導法	2		—		
	特別活動の指導法	2		2		
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	2		2		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法	4		4		4
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法					
	進路指導の理論及び方法					
教職実践演習		2		2		—
教育実習		5		3		—
合 計		31		25		16

（注意事項）

- ・「教職に関する科目」は、教育学部開講科目である。授業科目等詳細は掲示により周知するので注意すること。
- ・「各教科の指導法」は、取得しようとする免許教科ごとに修得すること。取得しようとする免許教科以外の指導法は、取得しようとする免許教科の単位として取り扱うことができないので注意すること。
- ・中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の両方取得しようとする場合は以下の点に注意すること。
 - ①高等学校教諭一種免許状では、「道徳の指導法」の単位を「教職に関する科目」として取り扱うことはできないが、「教科又は教職に関する科目」として取り扱うことはできる。
 - ②「教育実習」5単位のうち、2単位分（中学校教諭一種免許状5単位と高等学校教諭一種免許状3単位の差）を高等学校教諭一種免許状の「教科又は教職に関する科目」に充てることができる。

（4）教育実習

- ①教育実習は、4年次（卒業論文履修資格取得者）の4～6月に、原則として各自の出身校で履修すること。
- ②教育実習の内諾手続きについては、3年次の4～5月に掲示するので注意すること。
- ③事情により教育実習を辞退する場合は、速やかに教務担当窓口へ届け出るとともに、出身校へ必ず連絡すること。
- ④教育実習を履修するためには、3年次終了時まで上記「（3）③教職に関する科目」の表中に掲げる教育実習履修資格単位数（合計16単位以上）を修得すること。
- ⑤教育実習に関する詳細については、その都度掲示するので注意すること。

（5）介護等体験

中学校教諭一種免許状を取得する場合、社会福祉施設等において、7日間の「介護等体験」が義務づけられているので必ず参加すること。詳細については、掲示により周知するので注意すること。

（6）卒業要件単位に含まれない科目

教育職員免許状取得に関する科目のうち下記科目については、卒業要件単位に含まれないので注意すること。

- ①教職に関する科目
- ②教科に関する科目のうち「職業指導概説Ⅰ」及び「職業指導概説Ⅱ」